

## 第 15 回議会報告会 報告書

地 域 名	伊佐地域		
年 月 日	平成 29 年 4 月 20 日 (木)	会 場 名	伊佐ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分
参 加 数	男性 11 人	女性 2 人	合計 13 人
班 長	田村 和也	司 会 者	田村 和也
報 告 者	西谷 昭徳	書 記	田路 之雄
班 員 名	田村 和也、西谷 昭徳、田路 之雄、深澤 巧		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	①やぶパートナーズ(株)は何を目指している会社なのか。経営の状況はどうか。	① やぶパートナーズ(株)は、養父市が 100% 出資する地域公共会社として、平成 25 年 5 月に設立された。目指すところは地域活性化であり、主な事業として直営の事業(収益支援)、投資的事業(起業支援)、公共的事业等の展開をしている。 しかし、経営上の問題点があるので、本会議において 2,400 万円の内 600 万円を認めて 1,800 万円を減額する修正案が提出され、討論・採択の後可決された。よって議会は、6 月議会までの 3 カ月間で事業内容を精査していく。	
	②やぶパートナーズ(株)は、従業員 3 人で多くの事業をやっていると聞いているが、手を広げ過ぎではないか。	②やぶパートナーズ(株)の業務は、主にコンサル業務(相談業務)である。畑特産物生産出荷組合が生産・加工した朝倉山椒の販路開拓やブランド戦略、また、コンビニ事業等も行っている。その面において、手を広げ過ぎているかもしれない。	
	③やぶパートナーズ(株)のなかでもコンビニ事業の経理状況はどうなっているか。議会はしっかり調査してほしい。	③外部検証委員会で、コンビニ事業を他の公共的事业から分離させる必要性が提言されている。議会は対応する。	
	④やぶパートナーズ(株)は、株式会社であるため利益追求しなければならない。赤字であれば、株式会社にせず他の団体に組織を変えたほうがよいのではないか。	④外部検証委員会からも、公共会社の組織が曖昧になっているので、今一度、農業振興に特化した組織に改めるべきと指摘されている。議会も不明な点を調査する。	

	市 民	対 応
報告に対する質疑	<p>⑤農業特区は伊佐に対してどのようなメリットがあるか。将来にどんなよいことがあるか。他の特区もあるが。</p>	<p>⑤校区ごとにぴたりと合う効果はないかもしれない。しかし、市内の能座地区のような立地条件の悪い地域で酒米を耕作して、地区から感謝されている企業もある。</p>
意見交換会での質疑	<p>①議員の定数が、人口の比率にして多いと思うがどうか。</p> <p>②広瀬市長は「住みよい町づくりを目指す」と言うが、年金生活者にとって養父市の公共料金が低い。水道料金、市民税、介護保険料、国民保険料等を考えてほしい。</p> <p>③山野草の会で市のマイクロバスを利用したいが、年間1回しか利用できない。県下のいろいろなところの勉強会に参加したい。もう少し文化活動に対して補助してほしい。</p> <p>④養父市民1人当たり127万円の借金を抱え、養父市の人口は、10年後には1万8,000人と予想されている。少子化による学校の問題、財政の問題、八鹿病院の問題を考えると他市との合併も考えられるがどうか。</p> <p>⑤子どもの数が減って学校運営が難しい。</p> <p>⑥新しい文化会館を焦って建設する必要はないのではないか。 他市の事例もあるので参考にすべきである。</p>	<p>①今のところ16人で、人口の比率を考えると4年後は1人～2人減になるかもしれない。今後の課題である。</p> <p>②市内には特別養護老人ホームが4カ所あり、介護保険給付額が多い関係上、県下一番介護保険料が高い。水道料金も人口問題と施設の維持費の問題で高い。今後は、水道施設の統廃合をして改善を考え工夫していかなければならない。今後10年先、50年先の計画を策定している。水道料金については、この5年は値上げしない。</p> <p>③文化サークルの移動補助については、担当部局に今後どうするのか問い合わせしてお答えする。</p> <p>④財政は、実質公債費比率をみれば、合併当初よりよくなっている。地方債残高もあるが、養父市の場合、過疎債を多く使っており、国からの交付金に多く含まれている。今後、人口減少を見据えて、議会も真剣に財政について考えたい。</p> <p>⑤この20年で子どもの数が半減している。これといった特効薬はない。1つ1つの積み重ねで移住促進等を図る。</p> <p>⑥文化会館については、今後各自治協議会単位で住民説明会が開催される。議会では、養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会を設置し調査している。</p>

市 民	対 応
<p>その他 (提言など)</p> <p>①養父市の知名度を上げるため「やぶ医者大賞」の賞金 100 万円をあげるのもよいかもしれない。しかし、もう少し身近なところにお金を使ってほしい。</p> <p>②養父市の玄関口の八鹿駅周辺の町並みがさびれている。駅から踏切に至る道路が数カ所穴開き状態で危険である。早急に修繕するようお願いする。 この道路は市職員や道路を管轄する役人も通行していると思うが、どうなのか。夜間、大型トラックが通過する際、ガタンと音がして眠れないという苦情がある。伊佐校区自治協議会からも、当局に早急な道路修繕の要望をしている。</p> <p>③今日の議会報告会での市民の意見を市当局へ伝えていただくとともに議会活動にも生かしていただきたい。</p>	<p>①ご意見としてお聞きした。</p> <p>②県道か市道かわからないが、市の担当者に伝える。</p> <p>③報告会での意見等は、市に伝えるものは伝え、議会活動にも生かしていく。</p>
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 29 年 5 月 10 日

報告者 3 班 班長 田村 和也

